

春の息吹がここそこに感じられるようになってきた今日この頃、関係各位におかれましては、ご健勝にてますますご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃は本法人のカンボジア支援活動に絶大なるご支援ご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

◇本法人のカンボジア支援活動は、**2012年度よりバイヨン中学校の学校施設建設支援**、**加えて2013年度開校以降は、特に運動会の開催に向けて**体育授業実践に重きを置き教育活動支援を行ってきました。その間、支援者の皆様方より『オアシス学校未来基金』並びに『オアシス子ども笑顔基金』へ多額の浄財を、また、学用品・教具などもたくさん寄贈いただき、それらをバイヨン中学校の施設建設及び当地域の子どもたちの学力向上、健康増進に関わる事業に活用させていただきました。ありがとうございました。

◇去る1月16日、完成した3棟の校舎に囲まれた中庭において、**州政府主催のバイヨン中学校開校式典**が盛大に挙行されました。カンボジア政財界の要人、さらに日本・アメリカを含む国際色豊かな来賓の顔ぶれ、さらに生徒・保護者など2,000人を超す参会者で、当校への関心と期待の大きさが伺えるような式典でありました。

◇翌日の**運動会にも600人を超す参観者**があり、地域の期待を一身に集めた地域文化の中心拠点としての学校に育ちつつあることを実感させられました。開校以来ずっと授業実践を通して交流を続けてきた生徒たちではありますが、運動会当日の生徒たちの姿は、交流時に感じていた生徒とは別人のように自信に満ち溢れ、すべての演技・競技・運営に協働の精神をもって澁澁とした姿を見せていました。「小学校教育において、体育の授業経験が一度もなかった生徒たちが、これほどまでにやれるのか!」。本法人参加者一同、感嘆、感激、感動の一日となりました。

◇私どもが、このような感動体験を味わうことができたのも、支援者の**皆様方の物心両面のご支援**があったればこそのことと思ひ、ひたすら感謝の気持ちで一杯です。これからも、このような感動体験を少しでもお裾分けできるように支援活動を継続発展させていきます。

学校施設がほぼ整った現状においては、**今後特に現地教員の指導力向上のための支援と技能・技術・芸術・芸能教育の質の向上、さらに多様な教科外活動の創造をめざして教材教具等の充実支援**をしていきたいと考えます。そこで、これまで実施してきた2基金を解消して以下の募金に集約を図り、皆様方の変わらぬご支援をいただきたくお願いする次第です。◇何とぞよろしくお願いいたします。

※募金の名称及び内容変更

カンボジアの子どもたち先生へ 「伸びよ!輝け!学校づくり募金」

募 金: 2千円(一口) あなたの2千円で、カンボジアの学校の教材教具が整い、子どもたちの将来を拓きます。

※技術・技能・芸能・芸術教育がほとんど実施されていない背景には、黒板・チョークと子どもたちのノートしか用意できていないカンボジアの厳しい学校教育の現状があります。

募 金 先: 特定非営利活動法人オアシス 郵便為替: 00840-8-123690

問合せ先: オアシス事務局 電話: 0533-69-0052



●運動会の競技種目・チーム編成及び委員会活動は、日本の中学校標準に準じた形式、特に委員会活動に重点を置いた取り組みは、バイヨン中学校生徒会活動発展の礎になると確信している。

●〈チェム・ルー校長談〉「私を含め3名の職員(全10名)が、形原中学校と田口小学校の運動会(練習)を目の当たりにした時の衝撃が、運動会実施への「あこがれ」を募らせ、当日の大成功、感動へと導いた。」

●学校文化の輸出事業としての運動会。次は、シムリアップ州教員養成学校(6月)において開催予定。